

少数台数のリコール届出の公表について（平成25年6月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成25年6月は14件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：トライアンフ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月6日	外1936	車名：トライアンフ 型式：NX 他 通称名：スピードトリプルR ABS 他	23	平成24年2月8日～ 平成24年7月11日
不具合の部位等	トランスミッションのシフトドラムの溝の設計が不適切なため、シフトドラムがニュートラルスイッチを過剰に押し込み、当該スイッチが固着することで、ニュートラル以外のギヤに入っている状態でもニュートラルランプが点灯するおそれがある。そのため、ライダーがギヤ位置を誤認して運転操作を誤り、最悪の場合、予期しない加速をするおそれがある。			

2. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月11日	3167	車名：三菱 型式：SKG-MK27FH 他 通称名：ふそうエアロミディ	46	平成23年12月14日～ 平成25年1月22日
不具合の部位等	中型路線バスにおいて、スタータに使用されているゴム部品の材質が不適切であること及びフライホイールリングギヤの摩耗に対する余裕が不足しているため、アイドルリング・ストップ&スタート・システムによるエンジンの始動を頻繁に行うと、当該リングギヤが早期に摩耗するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、スタータの空転が発生し、最悪の場合、エンジンが始動不能となるおそれがある。			

3. 届出者：トライアンフ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月13日	外1937	車名：トライアンフ 型式：NH 通称名：タイガースポーツ	19	平成25年2月11日～ 平成25年4月4日
不具合の部位等	フロントブレーキホースのジョイント部において、当該ホースの接続位置が誤っているものがあるため、急制動時にABSシステムが誤作動し、フロントブレーキがロックするおそれがある。			

4. 届出者：株式会社KCM

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月19日	3178	車名：川崎 等 型式：KDP-50C4 他 通称名：50ZV-2 他	61	平成24年 9月14日～ 平成25年 3月20日
不具合の部位等	道路維持作業用自動車に備える黄色点滅灯において、反射鏡を回転させるメインギアの製造バラツキにより、低温時に収縮してメインギア内径と電球ソケットボスとの隙間が無くなる場合がある。その場合、メインギアおよび反射鏡が動かなくなるため、点滅灯が点滅しなくなる。			

5. 届出者：日立建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月19日	3179	車名：日立 型式：EDR-HS61 通称名：ZW140	1	平成24年11月 1日
不具合の部位等	道路維持作業用自動車に備える黄色点滅灯において、反射鏡を回転させるメインギアの製造バラツキにより、低温時に収縮してメインギア内径と電球ソケットボスとの隙間が無くなる場合がある。その場合、メインギアおよび反射鏡が動かなくなるため、点滅灯が点滅しなくなる。			

6. 届出者：UDトラック株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月19日	3180	車名：UDトラック 型式：LDG-CF5XL 通称名：クオン	2	平成24年 7月25日
不具合の部位等	道路維持作業用自動車に備える黄色点滅灯において、反射鏡を回転させるメインギアの製造バラツキにより、低温時に収縮してメインギア内径と電球ソケットボスとの隙間が無くなる場合がある。その場合、メインギアおよび反射鏡が動かなくなるため、点滅灯が点滅しなくなる。			

7. 届出者：岩崎工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月19日	3181	車名：いすゞ 型式：SKG-FRS90S2 他 通称名：フォワード	6	平成24年 8月21日～ 平成24年11月20日
不具合の部位等	道路維持作業用自動車に備える黄色点滅灯において、反射鏡を回転させるメインギアの製造バラツキにより、低温時に収縮してメインギア内径と電球ソケットボスとの隙間が無くなる場合がある。その場合、メインギアおよび反射鏡が動かなくなるため、点滅灯が点滅しなくなる。			

8. 届出者：株式会社アトランティックカーズ
 新東洋企業株式会社
 八光エルアール株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月19日	外1939	車名：アストンマーティン 型式：不明 通称名：DB9クーペ 他	74	平成24年5月7日～ 平成25年3月18日
不具合の部位等	スロットルレバーの材質が不適切なため、繰り返し操作することでスロットルレバーが破損して脱落するおそれがある。スロットルレバーが脱落すると、スロットルペダルを踏み込めず、加速できなくなる。			

9. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月20日	3170	車名：三菱 型式：QKG-FP54VDR 他 通称名：ふそうスーパーグレート 他	3	平成24年12月17日～ 平成25年1月7日
不具合の部位等	大・中型トラックの差動機において、加工不良のピニオンギヤを組付けたものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ピニオンギヤの焼付きが発生し、最悪の場合、差動機が破損して走行不能になるおそれがある。			

10. 届出者：フィアット グループ オートモービルズ ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月26日	外1944	車名：アルファロメオ 型式：ABA-92047 通称名：8C	67	平成20年11月27日～ 平成21年5月12日
不具合の部位等	後輪のトーインを調整するタイロッドにおいて、防錆処理が不適切なものがある。そのため、タイロッドのねじ山部分に錆が発生して締め込み部分が緩むことで、異音が発生したり、高速旋回時の走行安定性が損なわれるおそれがある。そのままの状態で使用を続けると、タイロッドの締め込み部分が外れて、最悪の場合、通常走行においても走行安定性が損なわれるおそれがある。			

11. 届出者：株式会社シンクトゥギャザー

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月27日	3156	車名：組立 型式：組立 通称名：-	2	平成24年4月27日～ 平成24年8月10日
不具合の部位等	原動機出力を減速機を介して車輪に伝達するスピンドルにおいて、段差部を不適切な形状に加工したため、使用過程で発生する応力に対して耐久力が不足している。そのため、そのまま使用を続けるとスピンドルに亀裂を生じ、最悪の場合、当該スピンドルが破断して車輪が脱落するおそれがある。			

1 2 . 届出者：極東開発工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月27日	3182	車名：トヨタ 他 型式：BJG-XKU304A 他 通称名：トヨタダイナ 他	11	平成22年 1月 8日～ 平成24年 3月 29日
不具合の部位等	排気管の開口部をT字型に変更した塵芥車において、排気管の開口方向が不適切なため、道路運送車両の保安基準（排気管の開口部であって、車両中心線を含む鉛直面に対し30°を越えない傾きを有する）に抵触する。			

1 3 . 届出者：トライアンフ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月27日	外1942	車名：トライアンフ 型式：LX 通称名：ストリートトリプル	53	平成25年 2月 17日～ 平成25年 3月 26日
不具合の部位等	左右のメインハーネスガイド固定ボルトの仕様が不適切なため、振動により当該ボルトが緩んで抜けてくるおそれがある。最悪の場合、ハンドル操作を行う際に当該ボルトがフロントフォークに接触してハンドル操作ができずに転倒するおそれがある。			

1 4 . 届出者：P i a g g i o G r o u p J a p a n株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月27日	外1943	車名：アプリリア 型式：ZD4RK 通称名：RSV4 Factory aPRC 他	20	平成24年 9月 11日～ 平成24年 11月 30日
不具合の部位等	吸排気側のバルブスプリングのスプリングリテーナーの耐久性が不十分なため、高回転で使用を続けると、スプリングリテーナーが異常摩耗して損壊するおそれがある。そのため、バルブがシリンダー内に落ちエンジンが壊れ、最悪の場合、エンジン回転がロックして転倒するおそれがある。			

【参考】

●平成25年6月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	23件 (+8)	15件 (+3)	8件 (+5)
輸入車	9件 (+2)	3件 (-1)	6件 (+3)
計	32件 (+10)	18件 (+2)	14件 (+8)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成25年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	18(+4)	7(-8)	25(-4)	1,023,922(+941,706)	7,500(-47,380)	1,031,422(+894,326)
5	8(-7)	13(+4)	21(-3)	270,667(-62,692)	118,690(+102,403)	389,357(+39,711)
6	23(+8)	9(+2)	32(+10)	<u>707,210(+439,189)</u>	4,332(+3,282)	<u>711,542(+442,471)</u>
小計	49(+5)	29(-2)	78(+3)	<u>2,001,799(+1,318,203)</u>	130,522(+58,305)	<u>2,132,321(+1,376,508)</u>

※ () 内は、対前年比

注：平成25年6月26日付けで届出されたリコール届出番号「3185」については、リコール対象車の範囲に対象とならない未登録車両も含まれていることから、下線部分の対象台数は概算値である。